



令和7年2月5日  
黒肥地小学校  
保健室

## 授業でがん教育を行いました（□ 友達や命を大切にする子ども）

球磨郡公立多良木病院の中原修医師を講師にお招きし、6年生でがん教育の授業をしていただきました。

がんの患者数は年々増加しており、今は2人に1人がかかるといわれています。早期発見できるかどうかが重要なポイントとなり、それによって治療方法や体への負担、生存率などが変わってくることを分かりやすく説明してくださいました。児童の感想を一部紹介します。



- ・日本人の死亡原因の1位ががんで、2人に1人がかかるなどを初めて知った。
- ・発見できる大きさになるまでに10~20年かかることにびっくりした。
- ・早期発見と治療ができれば治る確率が高くなることを知った。
- ・飲酒、喫煙、肥満、運動不足には気を付けたい。
- ・体を大切にしようと思った。
- ・大人になったら検診に行きたい。
- ・臓器によって使う薬や手術の方法が違うことが分かった。
- ・50歳くらいから患者数が増えることを知った。
- ・発見が遅れると治せない場合もある。早期発見で治せることが分かった。

がんの患者さんの中には「自分は大丈夫だと思ったから検診を受けなかった」、「体の異変に気付いてはいたが、がんと宣告されるのが怖かった」など、受け止めきれない思いをもつ方も多いいらっしゃるそうです。自分の身近な人がそのような思いで検診を受けることや病院を受診することをためらっていたら、今回の学習を思い出してどんな言葉がけができるか考えてもらいたいと思います。



## 受診報告書の提出ありがとうございました

11月に受診について呼びかけを行い、さっそく受診いただいたご家庭が複数ありました。報告書の提出ありがとうございました。おかげさまで昨年度の受診率を超えることができました！！残り2か月、まだまだ伸びるといいなあと思っています。用紙を無くされてお困りの方はお申し出ください。



| 令和6年度 | 2月1日現在 |
|-------|--------|
| 44.7% | 46.1%  |

6年生は中学生になると部活動や定期テスト等でいそがしくなります。今のうちに治療を済ませておくと入学後も安心です。

学校で行う健康診断の結果、治療が必要とされた児童生徒に対して、学校は「治療を指示し、運動や作業を軽減する等の適切な措置をすること」となっています。学校での必要な配慮等を行うためにも受診結果をお知らせください。(学校保健安全法第14条)